

東海コンファレンス 2024 in 名古屋

～新分子、新手法を起点とした基礎学術と産業応用への挑戦～

合目的に設計された分子や新手法は、新たな機能や物性の根源を与え、セントラルサイエンスとしての化学を日夜深化させています。そして、金属イオンの活用や高度なバルク構造設計は、目的達成のために一層重要性を増してきています。本コンファレンスでは、有機分子や金属錯体の分子レベルでの設計・合成と機能発現に関する新規基礎学術とその産業応用を見据えた挑戦の現状を、それぞれの分野を代表する著名な5名の先生にご講演いただきます。

- 主催：** 日本化学会 東海支部
協賛： 基礎有機化学会、錯体化学会、有機合成化学協会 東海支部、高分子学会東海支部、近畿化学協会（申請中）、愛知工業大学
後援： 電気化学会エネルギー会議・電力貯蔵技術研究会（予定）
日時： 令和7年2月4日（火）12:20～16:40
場所： 愛知工業大学 本山キャンパス（名古屋市千種区東山通 1-38-1）
（名古屋市営地下鉄 東山線 本山駅から徒歩1分）
<https://www.ait.ac.jp/about/motoyama-campus/>

プログラム

- 12:20 - 12:25 開会の挨拶 森田 靖（日本化学会 東海支部 副支部長）
12:25 - 13:15 「構造柔軟性を有する多孔性配位高分子を利用した分離機能の開発」
大竹研一（京都大学）
13:15 - 14:05 「エネルギーに敏感な精密錯体触媒と CO₂ 変換」
斎藤 進（名古屋大学）
14:05 - 14:10 —— 休憩 ——
14:10 - 15:00 「有機テルルを用いる制御ラジカル重合：線状から多分岐高分子へ」
山子 茂（京都大学）
15:00 - 15:50 「金属ならびに水系有機活物質を利用するレドックスフロー電池のご紹介」
佐藤 縁（産業技術総合研究所）
15:50 - 16:40 「単分子・有機エレクトロニクスに向けた拡張共役分子の開発」
家 裕隆（大阪大学）
16:40 閉会

参加費： 無料

参加申込方法： 以下の URL から参加登録

<https://forms.gle/JGy48E73JV8oZa3v8>

※申込時にご記入頂きました情報は個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外には転用いたしません。

定員： 80名程度

問い合わせ先： 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草 1247

愛知工業大学 工学部 応用化学科

担当： 森田 靖、村田剛志

E-mail: moritay@aitech.ac.jp, tmurata@aitech.ac.jp